

「Vision Quest English Expression II 確認ノート」の訂正について

本書には、次のところに修正があります。深くお詫び申し上げますとともに、下記のように訂正のうえ、ご使用いただきますようお願いいたします。

啓林館編集部

<本体>

訂正箇所	原 文 (誤)	訂正文(正)
p.9 3 3.	①「生け花」を主語にしてSVCの文型をつくる。	①「私たちのコーチ」を主語にしてSVCの文型をつくる。
p.10 3 3.	<ul style="list-style-type: none"> ・「～に思える」という意味の動詞はseemを使う。 ・次の2通りの文をつくることができる。 ①「生け花」を主語にしてSVCの文型をつくる。 「生け花」は*flower arrangement (p.109)。 「私には」はto meで文末に置く。flower arrangement=interestingの関係。 ② 形式主語のitを主語にしてSVCの文型をつくる。この場合はCにthat節がきて、It seemed to me that flower arrangement was interesting.となる。to meの位置に注意する。また、that節の動詞はseemedという過去形に合わせてwasとなる点にも注意。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「～のようだ」という意味の動詞はseemを使う。 ・「～に満足している」はbe happy with ～。 ・次の2通りの文をつくることができる。 ①「私たちのコーチ」を主語にしてSVCの文型をつくる。our coach=happyの関係。 ② 形式主語のitを主語にしてSVCの文型をつくる。この場合はCにthat節がきて、It seems that our coach is happy with the team's result.となる。
p.13 3 1.	「(人が)～と言っていた」は間接話法で表す。that節の中の時制は過去形。	「(人が)～と言っていた」は間接話法で表す。that節の中の時制は過去完了形。
p.14 3 1.	<ul style="list-style-type: none"> ・「Sが～と言う」は「S tell 人 (that)～」の形の間接話法で表す。that節の中の時制は過去形にする。 ・「友人の1人」はa friend of mine。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「Sは～と言う」は「S tell 人 (that)～」の形の間接話法で表す。that節の中の時制は過去完了形にする。 <p>削除</p>
p.17 1 2.	「飼っていた」は状態動詞keepの過去形で表す。	「飼っていた」は状態動詞haveの過去形で表す。
p.18 1 2.	<ul style="list-style-type: none"> ・「家で犬を飼っていた」は「家族が犬を飼っていた」と考えて、my familyを主語にして、keepの過去形を使う。keepは状態動詞なので進行形にはならない点に注意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「家で犬を飼っていた」は「家族が犬を飼っていた」と考えて、my familyを主語にして、haveの過去形を使う。haveは状態動詞なので進行形にはならない点に注意する。

AーA

<解答編>

訂正箇所	原 文 (誤)	訂正文(正)
p.1 L5 3 3.	<p>Flower arrangement seemed (to be) interesting to me.</p> <p>It seemed to me that flower arrangement was interesting.</p>	<p>Our coach seems happy with the team's result.</p> <p>It seems that our coach is happy with the team's result.</p>
p.2 L7 3 1.	A friend of mine told me (that) the movie was really good.	Sam told me (that) he had been moved by the movie.
p.2 L9 1 2.	(My family kept a dog) when I was in elementary school.	(My family had a dog) when I was in elementary school.

AーA